



2025年9月2日

各 位

会 社 名 ニューラルグループ株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 重松 路威  
(コード番号：4056 東証グロース)  
問 合 せ 先 執行役員 CFO 木坂 高士  
(TEL 03-5157-2345)

### 発行価格及び売出価格等の決定のお知らせ

2025年8月26日開催の当社取締役会決議により決定いたしました新株式発行及び当社株式のオーバーアロットメントによる売出しに関し、発行価格及び売出価格等が下記のとおり決定されましたので、お知らせいたします。

#### 1. 公募による新株式発行（一般募集）

(1) 発行価格（募集価格）	1株につき	790円
(2) 発行価格の総額		1,434,640,000円
(3) 払込金額	1株につき	748.85円
(4) 払込金額の総額		1,359,911,600円
(5) 増加する資本金及び 資本準備金の額	増加する資本金の額 増加する資本準備金の額	679,955,800円 679,955,800円
(6) 申込期間	2025年9月3日（水）～2025年9月4日（木）	
(7) 払込期日	2025年9月10日（水）	
(8) 受渡期日	2025年9月11日（木）	

(注) 引受人は払込金額で買取引受けを行い、発行価格（募集価格）で募集を行います。

#### 2. 当社株式の売出し（オーバーアロットメントによる売出し）

(1) 売出株式数		272,400株
(2) 売出価格	1株につき	790円
(3) 売出価格の総額		215,196,000円
(4) 申込期間	2025年9月3日（水）～2025年9月4日（木）	
(5) 受渡期日	2025年9月11日（木）	

#### 3. 第三者割当による新株式発行（本件第三者割当増資）

(1) 払込金額	1株につき	748.85円
(2) 払込金額の総額	(上限)	203,986,740円
(3) 増加する資本金及び 資本準備金の額	増加する資本金の額 増加する資本準備金の額	(上限) 101,993,370円 (上限) 101,993,370円
(4) 申込期日	2025年10月3日（金）	
(5) 払込期日	2025年10月8日（水）	

<ご参考>

1. 発行価格（募集価格）及び売出価格の算定

- |                 |              |       |
|-----------------|--------------|-------|
| (1) 算定基準日及びその価格 | 2025年9月2日（火） | 823円  |
| (2) ディスカウント率    |              | 4.01% |

2. 一般募集の募集株式数

1,816,000株

3. シンジケートカバー取引期間

2025年9月5日（金）から2025年10月3日（金）まで

4. 調達資金の使途

今回の一般募集及び本件第三者割当増資に係る手取概算額合計上限1,545,898,340円（以下「本件調達資金」という。）について、手取金の使途は主に下記のとおりとなります。

なお、具体的な充当時期までは、安全性の高い金融商品等で運用する予定であります。

資金使途	金額 (百万円)	支出予定時期
① 増収・増益に向けた成長を加速するための投資	956	2025年10月～2027年12月
② 将来の投資を可能とする強固な財務基盤の構築	589	2025年10月～2027年12月
計	1,545	—

資金調達を行う背景及び具体的な本件調達資金の使途は以下のとおりです。

① 増収・増益に向けた成長を加速するための投資（956百万円）

当社グループの持続的な成長と競争力強化のため、以下の戦略的投資に充当いたします。

(i) AI技術開発およびサービス強化のための研究開発投資

当社グループ事業は、AI Agent や LLM 等の先端技術領域の研究活動を推進し AI アルゴリズムの研究をはじめとした AI 技術の研究・開発と売上創出を並行で行うイノベーション領域と、イノベーション領域を含めて当社グループ内で開発・獲得した新技術を随時取り込みつつ、成熟した AI 技術や関連技術をサービス・プロダクトとして提供・販売するコアサービス領域の二輪で推進しております。このうち、イノベーション領域については、変化の速い AI 業界において、最新の技術を絶え間なく取込み事業化を目指す研究活動を行っております。独自の深層学習の開発、エッジ AI の継続的な強化、AI Agent や LLM などの先端分野の研究開発活動は、当社競争力の源泉であり、当社事業規模の拡大に伴い一層の強化を行い、開発・獲得した新技術を、AI の社会活用を推進する領域であるコアサービスとして展開することで、当社グループの事業成長をさらに加速させる方針であることから、この研究開発活動に本件調達資金を充当するものです。

(ii) コアサービスを拡大するための強固な営業組織の構築と拡充

当社グループでは売上増加と収益が連動するビジネスモデルへの転換が完了し、一層の収益拡大を目指す新たなフェーズへと進化いたしました。コアサービスを社会に浸透させ、当社のさらなる成長につなげるためには、当社のプロダクトを顧客に訴求し販売を拡大させていくための営業基盤の拡充が課題となっております。今後、本件調達資金の充当により、人材の採用の拡大および人材育成を積極化することによって、営業組織体制の強化を行い、当社の事業拡大を支える人的基盤を確立します。

② 将来の投資を可能とする強固な財務基盤の構築 (589 百万円)

当社グループは、財務基盤の強化を重要課題と位置付けております。本資金調達により既存借入金の返済を進めることで、デット・エクイティレシオを大幅に改善させるなど、財務健全性を一段と強化することで各ステークホルダーの信用の拡大を図ります。具体的には、2025年12月までに約111百万円、2026年12月までに約429百万円、2027年12月までに約49百万円を当社の資金計画に沿って充当する予定です。これにより、将来的な負債調達余力の拡充および成長戦略実行の機動性向上に繋げ、今後の技術革新の中で新たな成長に向けたさらなる投資の必要が生じた際の機動的な資金確保を可能とする強固な基盤を構築します。また、これを有効活用し、積極的かつ機動的な投資実行により企業価値を一段と向上させることを目指すとともに、規律ある投資判断を行うことで、持続的な収益拡大を目指してまいります。

なお、詳細につきましては、2025年8月26日に公表いたしました「新株式発行及びオーバーアロットメントによる株式売出しに関するお知らせ」をご参照下さい。

以 上